

ソウシハギ

参考資料

1 ソウシハギの特徴

カワハギ科の魚で、大きな尾びれを持ち、体に黒色斑と淡青色の波状紋があるのが特徴。「パリトキシン様毒」(※)という毒を内臓を持つ場合がある。

2 販売されていた商品の残品



大きさ：約 50×15cm
重量：約 745g

3 ソウシハギ写真



※三重県 HP より



※厚生労働省 HP より

※パリトキシン様毒について

魚類の体内に蓄積される自然毒の一種。ソウシハギはヒトでの中毒事例はないが、消化管や内臓にパリトキシンをもち、これによる家畜の死亡例がある。

症状：潜伏時間は12時間～24時間で、激しい筋肉痛を主症状とし、しばしば黒褐色の排尿（ミオグロビン尿症）を伴う。また、患者は呼吸困難、歩行困難、胸部の圧迫、麻痺、痙攣などを呈することもあり、重篤な場合は死に至ることもある。

有毒種：ソウシハギ、アオブダイ、ハコフグ、ブダイ、ウミスズメ等

有毒部位：筋肉、肝臓、消化管、その他の内臓

対策：有毒種の喫食を避けるほか、明確な対策はない。